



ビジネスレポート Vol. 9

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

技術の翼と革新の心。

Wings of technology and spirit of innovation.



錦帯橋(山口県岩国市)

Contents

1 トップメッセージ

2-3 トピックス

スペインでナイロン工場の増設を決定 ほか

4 連結業績ハイライト

裏表紙 会社情報・株式情報

宇部興産株式会社

証券コード 4208

“ビジネスレポート”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期の経済情勢は、米国では回復が続き、欧州でも緩やかな回復基調で推移し、アジアでは中国において景気に減速感が強まるなど、世界経済は力強さを欠きながらも緩やかな回復が続きました。国内経済は、一部に改善の遅れもみられるものの、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況の下、当社グループは、当期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「Change & Challenge 2018」を始動し、「持続的成長を可能にする経営基盤の強化」「資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献」という基本方針の下、各事業の収益力向上を推進するとともに、各事業課題の解決に向け取り組んでおります。当期においては、全般に円高の影響を受けるとともに、化学では一部製品の原料価格高や国内アンモニア工場の定期修理を実施したことによるコストの増加等、建設資材ではセメントの国内需要減少や輸出環境悪化等の影響もあり、連結営業利益では減益となりましたが、当期は大きな特別損失の計上がなく、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

この結果、当期における当社グループの連結業績は、売上高、営業利益、経常利益ともに減益となりましたが、親会社株式に帰属する当期純利益は増益となりました。

なお、当期の期末配当は1株につき1円増配の6円とさせていただきました。

当社グループは、10年後のありたい姿「顧客に価値を創出し続ける企業」の実現に向け、様々な施策を推進しています。

徹底したコストダウンや国内外グループ会社の連携深化により、顧客に提供する価値の増大とともに当社グループ各部門の収益力向上を推進し、中でも厳しさを増す建設資材部門での対策強化と化学部門における更なる業績回復に注力してまいります。

さらに、当社グループは、公正な企業活動や社会的責任を果たすための活動を推進し、経営理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、顧客・取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山本 謙

経営理念

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という経営理念を踏まえ、右記のグループビジョンを掲げ、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造しています。

UBEグループビジョン

技術の翼と革新の心。
世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、
無限の技術で世界と共生するUBEグループは、
モノづくりを通して、次代の価値を創造し続けます。

「Change & Challenge 2018」

- 2016年度 ●全体としては計画に沿って進捗
●営業利益は非化学で下振れるも、化学、医薬でほぼカバー
- 2017年度 ●各事業の更なる収益力向上、合理化・コストダウンを進めると共に、前年度までに着手した諸施策を確実に実行する
●事業環境が厳しさを増す建設資材での対策強化、化学を始め他部門での更なる収益力の向上を図る

主要項目

項目	単位	2016年度 (実績)	2017年度 (予想)	2018年度 (計画)
売上高	億円	6,165	7,000	7,500
営業利益	億円	349	400	500
経常利益	億円	333	380	490
親会社株主に帰属する当期純利益	億円	241	245	290

経営指標

売上高営業利益率 (ROS)	%	5.7	5.7	6.5以上
自己資本当期純利益率 (ROE)	%	8.7	8.3	9.0以上

2016年度 トピックス一覧

- 2016**
- 4月 【建設】 石灰石関連製品事業に係る営業・物流機能を宇部マテリアルズ(株)に移管
 - 4月 【化学】 ケミカル工場での大粒硫安の増産決定と、JA全農との硫安出荷・管理合併会社の設立を合意
 - 5月 【機械】 宇部興産機械(株)が新中型ダイカストマシン UB-iS3シリーズを上市
 - 6月 【建設】 高性能セメント系セルフレベリング材「タフレベラーGプラス」の発売を開始
 - 7月 【建設】 (株)大林組と共同開発した「スリムクリート工法」が第18回国土技術開発賞「最優秀賞」を受賞
 - 8月 【化学】 「大阪研究開発センター」の開所式を開催
 - 8月 【機械】 UBE Machinery Inc.が米国・ケンタッキー州に販売・サービス拠点を設立
 - 8月 【建設】 宇部興産海運(株)がインドネシアで日本の内航海運事業者として初の合併会社を設立
 - 9月 【化学】 セパレータの設備増強を決定
 - 9月 【建設】 宇部マテリアルズ(株)がタイに現地法人を設立 …… **1**
 - 10月 【化学】 スペインでナイロン工場の増設を決定 …… **2**
 - 10月 【化学】 三菱化学(株)※と中国での電解液事業の提携を決定
 - 10月 【建設】 コンクリート用混和材「クロロガード®」の工業会を設立
 - 11月 【建設】 宇部伊佐鉱山、石灰石の累計出鉱山量が5億トンに
- 2017**
- 1月 【機械】 宇部興産機械(株)が三菱重工プラスチックテクノロジー(株)の株式を取得 …… **3**
 - 2月 【化学】 N型有機半導体サンプルの販売を開始
 - 3月 【化学】 三菱レイヨン(株)※・JSR(株)と、ABS樹脂事業統合について株主間契約書を締結 …… **4**

1 宇部マテリアルズ(株)がタイに現地法人を設立

宇部マテリアルズ(株)はタイ・バンコクに塩基性硫酸マグネシウム「モスハイジ」の製造・販売会社「ウベ・マテリアルズ・タイランド社」を設立しました。モスハイジは自動車の軽量化に寄与する樹脂添加剤であり、地球温暖化対策やCO₂排出量削減に向けた世界的な自動車軽量化ニーズを背景に、需要が拡大しています。モスハイジは宇部市の工場に3,000トン/年の製造能力がありますが、今後の需要増や海外顧客の現地調達ニーズに対応するため、アジアにおける自動車産業の中心地であるタイにおいて現地法人を設立し、工場の建設準備を進めてまいります。



モスハイジ

2 スペインでナイロン工場の増設を決定

当社では、カプロラクタムの外販量を減らし、ナイロン原料として自社内で使用量を増やすことで、より付加価値を高めて販売しようとしています。世界的に拡大し続ける食品包装用フィルムなど、高付加価値ナイロンの需要に対応するため、スペインのナイロン工場の増設を決定しました。これにより、スペインでのナイロン製造能力は4万トン/年増え、合計7万トン/年になります。今後も旺盛なナイロン需要に応じるため、グローバルでのナイロン製造能力の増強を検討してまいります。



ナイロン工場(スペイン)

3 宇部興産機械(株)が三菱重工プラスチックテクノロジー(株)の株式を取得

宇部興産機械(株)は、三菱重工業(株)の射出成形機事業子会社である三菱重工プラスチックテクノロジー(株)株式の85%を取得、新たに宇部興産機械(株)の子会社としました。新体制の下、三菱重工プラスチックテクノロジー(株)は「U-MHIプラテック(株)」と社名も新たに営業開始しました。また、宇部興産機械(株)は、同社と「U-MHIプラテック(株)」との両社製品を取り扱う販売会社「U&Mプラスチックソリューションズ(株)」を併せて設立、営業開始しました。



4 三菱レイヨン(株)※・JSR(株)と、ABS樹脂事業統合について株主間契約書を締結

当社と三菱レイヨン(株)※及びJSR(株)は、ABS樹脂事業の統合について協議を重ねてまいりましたが、本年10月を予定日として、JSR(株)の完全子会社であるテクノポリマー(株)と、当社と三菱レイヨン(株)※がそれぞれ50%ずつ出資するUMG ABS(株)の事業を統合することを決定しました。統合後の新会社は、当社とJSR(株)及び三菱レイヨン(株)※の3社で共同して運営し、厳しさを増す国内外のABS樹脂事業において、国内への安定供給と海外での拡販のため、製造効率とコスト競争力の確保を目指します。

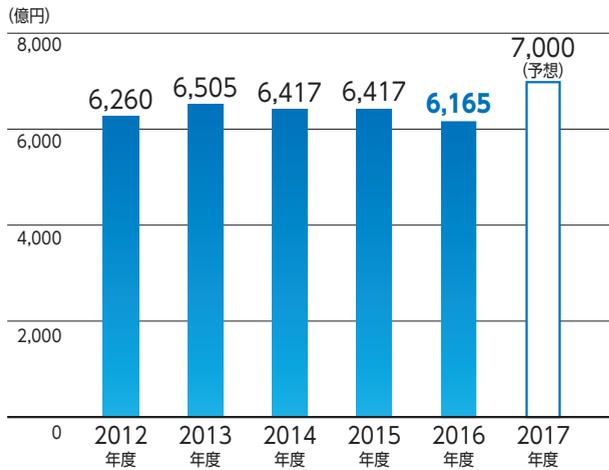


UMG ABS(株)コンパウンド工場

※三菱化学(株)、三菱レイヨン(株)は、現在は三菱ケミカル(株)です。

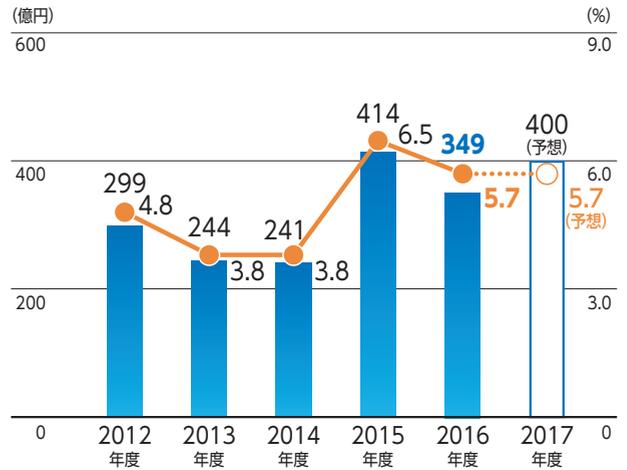
連結業績ハイライト

売上高



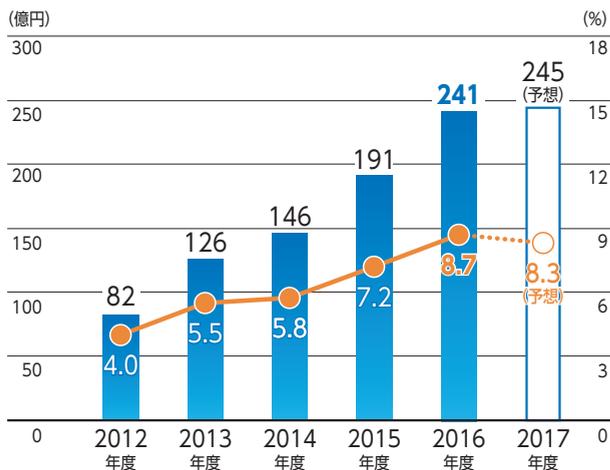
営業利益と売上高営業利益率 (ROS)

■ 営業利益(左軸) ● 売上高営業利益率(ROS) (右軸)



親会社株主に帰属する当期純利益と自己資本当期純利益率(ROE)*

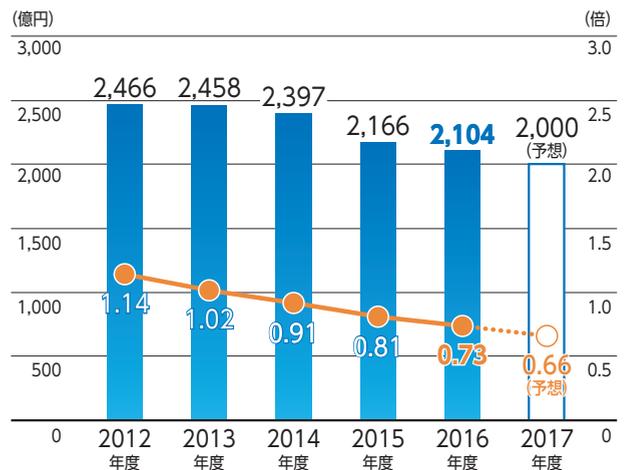
■ 親会社株主に帰属する当期純利益(左軸) ● 自己資本当期純利益率(ROE) (右軸)



*自己資本利益率(ROE) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本

有利子負債とD/Eレシオ*

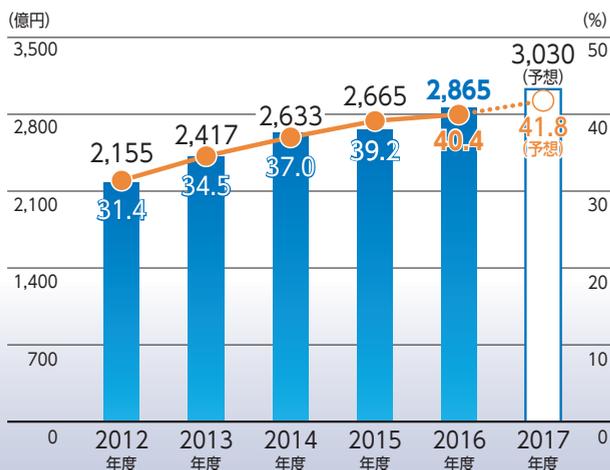
■ 有利子負債(左軸) ● D/Eレシオ(右軸)



*D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

自己資本と自己資本比率*

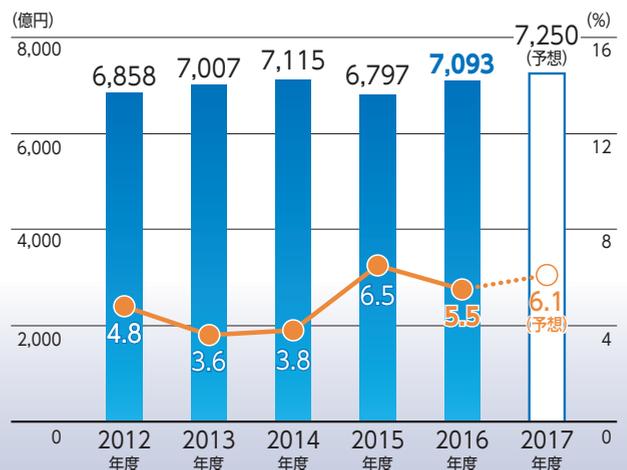
■ 自己資本(左軸) ● 自己資本比率(右軸)



*自己資本比率 = 自己資本(=純資産-新株予約権-非支配株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率(ROA)*

■ 総資産(左軸) ● 総資産事業利益率(ROA) (右軸)



*総資産事業利益率(ROA) = 事業利益(=営業利益+受取利息+受取配当金+持分法投資損益) / 総資産

会社情報・株式情報

会社概要 (2017年3月31日現在)

設立	1942 (昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,612人 (連結 10,928人)
連結対象会社	95社 (連結子会社70社、持分法適用会社25社)

役員 (2017年6月30日現在)

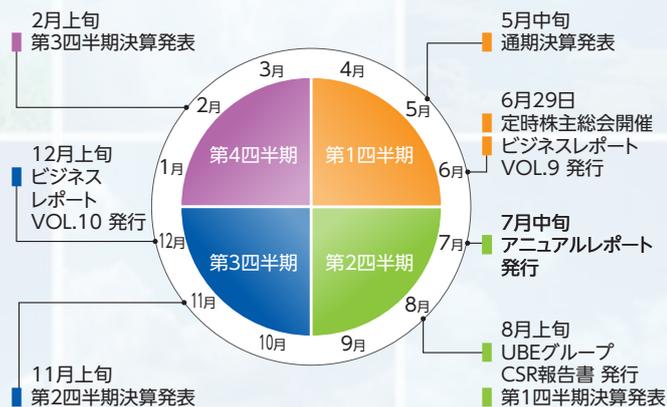
取締役

取締役会長	竹下 道夫
代表取締役社長	山本 謙
代表取締役	杉下 秀幸
取締役	松波 正
取締役(社外)	草間 高志
取締役(社外)	照井 恵光
取締役(社外)	庄田 隆
取締役(社外)	蔭山 真人

監査役

常勤監査役	久保田 隆昌
常勤監査役	山元 篤
監査役(社外)	落合 誠一
監査役(社外)	須田 美矢子

IRカレンダー (2017年6月～2018年5月)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	電子公告 (http://www.ube.co.jp)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様 のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない 株主様の お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の指定		
未払配当金のお支払 その他株式事務について	三菱UFJ信託銀行 株式会社 証券代行部	

株式に関する「マイナンバー」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーのお届けをお願いいたします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様**
お取引の証券会社
- 証券会社とのお取引がない株主様**
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711



蔭山真人、庄田隆、照井恵光、草間高志、杉下秀幸、竹下道夫、山本謙、松波正、須田美矢子、落合誠一、久保田隆昌、山元篤

宇部興産株式会社

東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96



※本ビジネスレポートに記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますをご承知おさください。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。